

学校目標「自主性を養う」

～自ら考え 自ら判断し 自ら行動できる 生徒～

6つの重点

- ・挨拶の行き交う
- ・時を守る
- ・清掃に打ち込む
- ・歌声が響く
- ・学習に集中する
- ・読書に親しむ



山極勝三郎博士

【学校目標確認の合言葉】魂 智 和 (こん・ち・わ)

「魂を込める」「智を磨く」「和を尊ぶ」

【めざす生徒の姿】

主体的で対話的に学ぶ三中生～自ら進んで学び、課題を発見し、解決する力を育む学校～

○知識や技能を活用する力 ○多様性を認め合い、よりよい人間関係を築く力 ○自律的に行動する力

重点1「誰もがわかる」

(学力の向上)

- ◆生徒の「主体的・対話的な学び」や「個別最適な学び」を保障し、知識や技能を活用する力を育成する
- 「わかる授業・できる授業」をめざす授業研究を進め、学力向上を図る
 - ・数学授業における単元テストの導入
 - ・英語授業の少人数コース別学習の導入
 - ・数学授業でのTTの導入(1年)
- 学び合う教師集団の醸成
 - ・同じ課題をもつ研究チームの編成(授業参観・校外研修等)
 - ・外部講師の招聘

重点2「多様な個性を認める」

(居心地のよい学級)

- ◆すべての生徒が自分らしく生活できる学年・学級づくりに努める
- 「さわやかな挨拶」「かかとの揃った下駄箱」「美しい歌声」をめざす
- 生徒一人ひとりのよさを活かして、生徒に応じた支援を行うために職員全員で情報共有し、連携して取り組む
 - ・年3回の教育相談を充実させる
 - ・個別指導計画の作成と有用活用
 - ・スクリーニング会議(毎月)の実施
 - ・確実な状況把握と早期対応
 - ・ほっとルーム、学びルームへの職員配置の充実
 - ・学校環境適応感尺度アセスの活用

重点3「地域とともに」

(保護者や地域との連携)

- ◆保護者や学校運営委員、地域と協働して学校運営を進める(地域の大人に学ぶ)
- 地域ボランティアと連携し、個に応じた学習支援や補充的な学習を行う
 - ・『月曜朝の学習(ASAGAKU)および『スイッチ(水曜放課後+地域の方と学ぶ)』を通じた学習の定着と意欲向上
- 総合的な学習の時間等で地域の方と授業をつくったり、花壇づくりをしたりする
- 学校開放や学校だより、HP、新聞等を通して、広報し、地域に開かれた学校づくりをめざす

研究テーマ 生徒一人ひとりが課題に対する自分の考えや表現を追究し、仲間と共に「できた」「わかった」を実感する授業のあり方
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

- 自ら授業を見合い、研究する機会を設けるとともに、「チーム対応」を行う職員集団として、互いに研修を通してより良い授業の在り方を共有しながら協働化を高める
- 生徒を主体にした学習課題の設定と教科の特色ある授業展開で、生徒が自ら課題に向かい、多様な学習方法で追究できる授業づくり
- 生徒一人ひとりの特性に応じた学びの追究を支える環境と支援の充実

◆生徒会活動 生徒の思い

生徒会スローガン Contrast
「全校生徒が“一緒に”、お互いを“信じ合って”、一人ひとり異なった個性のコントラスト、メリハリのコントラストの美しい三中にしたい」という願いのもと活動していきます。

◆保護者や地域の願い

- いじめや差別がなく、豊かな心を持ち、明るく育ってほしい。
- 自ら学び、地域から学び、考える力を身につけてほしい。
- 学校と地域が連携し、皆で第三中を大好きな学校にしたい。

◆上田市教育支援プラン基本理念

- 「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」
- 「確かな学力」を培う
- グローバル社会を生き抜く力や、ふるさとを愛する心を育む
- 夢や希望を持って未来を切り拓く力を養う

三中プライドと三中愛、やる気を育む

私の学校・学年・学級が大好きといえる生徒と職員

背景の石垣について

- ①全校生徒と職員、保護者の結束を示しています。全員参加の学校をめざす
- ②ひとりもとり残さずに過ごせる学校を示しています
- ③17,000人を超す卒業生や保護者、地域の教えや支えを土台にして、三中城は不落をめざします